

「測定解析報告書」

顧客番号：MM320260418

1. 基本情報

顧客名：〇〇株式会社
測定対象：車載HUD用表示ユニット（試作A）
測定日：2026年4月18日
測定場所：アフロディ株式会社 テクノロジーオフィス
担当：〇〇（ディスプレイ測定担当）

2. ご相談内容（課題整理）

HUD表示において以下の懸念がある：

- 表示のボヤけ感
- 高輝度時の視認性低下
- 外光環境下でのコントラスト低下

本測定では、上記課題に対する客観的評価指標の取得を目的とした。

3. 測定条件

測定距離：1.5 m
外光条件：500 lx（室内想定）
表示パターン：解像度チャート／白100%表示
温度条件：室温23°C

4-1. 解像度評価（MTF-33S）

項目	測定値	参考基準
MTF50 (cycles/pixel)	0.42	0.40以上で実用域
MTF30 (cycles/pixel)	0.63	0.60以上で良好

所見：MTF50は実用水準を満たしているが、HUD用途としては0.45以上が望ましい。

4-2. 輝度評価 (Viewfinder)

測定点	輝度 (cd/m ²)
中央	1180
左端	1055
右端	1092

輝度ムラ：最大差 10.6%

所見：実用上問題ない範囲であり、高輝度維持設計として良好。

4-3. 応答速度・フリッカー (輝度・フリッカーメーター)

サンプリング：800,000 samples/sec

応答時間 (GtoG)：5.8 ms

フリッカー指数：0.032

所見：応答速度は十分高速で、フリッカーも低水準。

5. 判断支援コメント

解像度は実用域にあるが、さらなる改善余地がある。

- ・解像度向上 → 光学系改善の検討
- ・輝度向上 → 電力増加とのトレードオフ
- ・拡散低減 → 防眩性能との交換関係に注意

6. 複眼的示唆

他要素（色域評価、視野角特性等）も含めた検討をご希望の場合は、お気軽にご相談ください。

7. 総括

本測定により、課題に対する客観的指標を可視化しました。

今後の設計判断・評価方針策定にご活用ください。

本報告書は、社内検討・技術共有の参考資料として関係者へ共有いただいて問題ございません。

もし同様の評価でお困りの方がいらっしゃいましたら、
お気軽にご紹介ください。

アフロディ株式会社
ディスプレイ測定サービス